

本校学生が第14回近畿地区高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストで受賞しました！

2020年11月14日（土）に、第14回近畿地区高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストが開催されました。舞鶴高専の主催で開催された本大会は、新型コロナウイルス感染防止のためオンラインで行われました。

本校からは、物質化学工学科3年のプスパさんと情報工学科1年吉田彩人君が参加しました。

プスパさんは「Internet: Utopia and Dystopia（インターネット：理想郷そして暗黒郷）」というタイトルの下、仲間と敵に簡単に会うことができる裏表のあるインターネット世界の本質について流暢な英語で論理的に主張しました。プレゼン後に行われた質疑応答でも、インターネットの便利性と危険性に関する個人的な意見を、経験に基づいて明確に説明することができ、大変高く評価されました。プスパさんは今回の大会で「Internet Society Defender Award（インターネット社会擁護者賞）」を受賞すると同時に、出場者として唯一に「Pressing Award（評論賞）」も受賞することで、ダブル受賞を果たしました。

吉田彩人君は「Diversity: Should It Usually Be Taken as Absolutely Justice?（多様性：それは通常、絶対的な正義と見なされるべきか?）」というテーマでプレゼンを行いました。近年、BLM（Black Lives Matter）など多様性を認め合おうという風潮が強まっている中、彼らの一部が「多様性」という正義のもとで暴徒化するということ、多文化の共存によってもたらされる現地人への弊害について流暢に語りました。質疑応答においても、ヨーロッパで住んでいた頃の経験や考えについて慎重に答えることができ、高い評価を受けました。吉田君は見事に「Internationally-minded Award（国際人賞）」を受賞しました。



(プスパさんの英語プレゼンテーションと質疑応答の様子)



(吉田君の英語プレゼンテーションと質疑応答の様子)



(プспаさんの受賞の様子)



(吉田君の受賞の様子)